

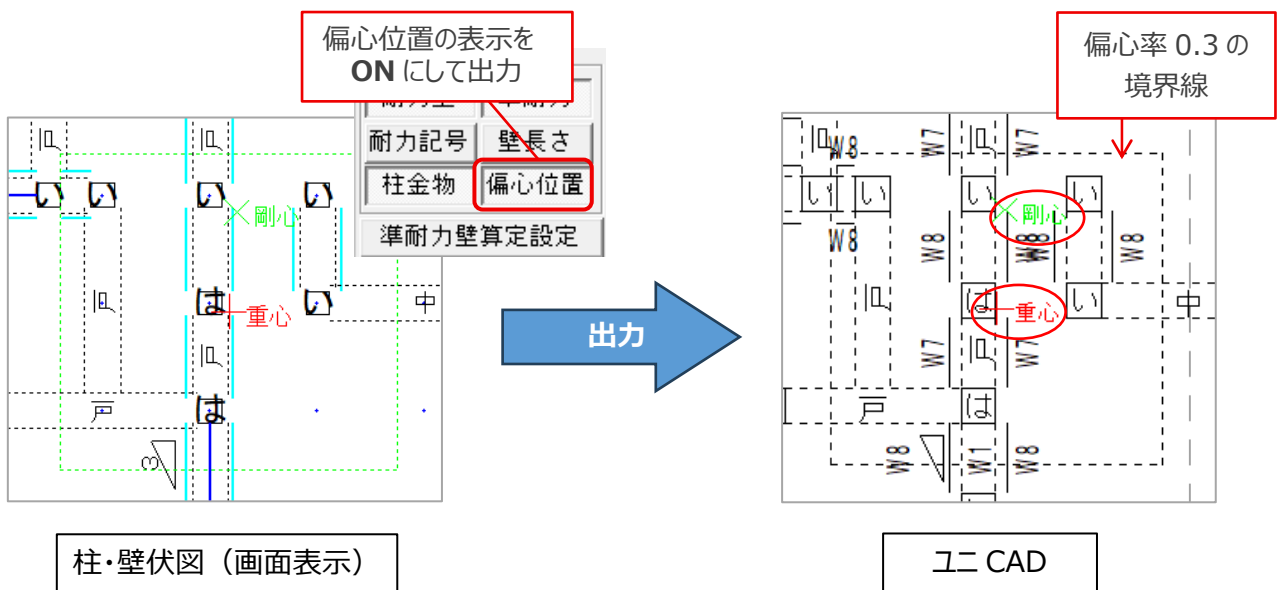
B-MOSアップデート内容（2026/05/14公開）

2026年5月14日 公開のネットアップデートの追加機能や変更箇所等については、以下の内容となります。

壁量計算・構造チェッカー・ハウストラ

◆「重心」・「剛心」・「偏心率 0.3 の境界線」の出力に対応

偏心位置の表示を「ON」に設定すると、柱・壁伏図の出力時に「重心」・「剛心」・「偏心率 0.3 の境界線」が出力できるようになりました。



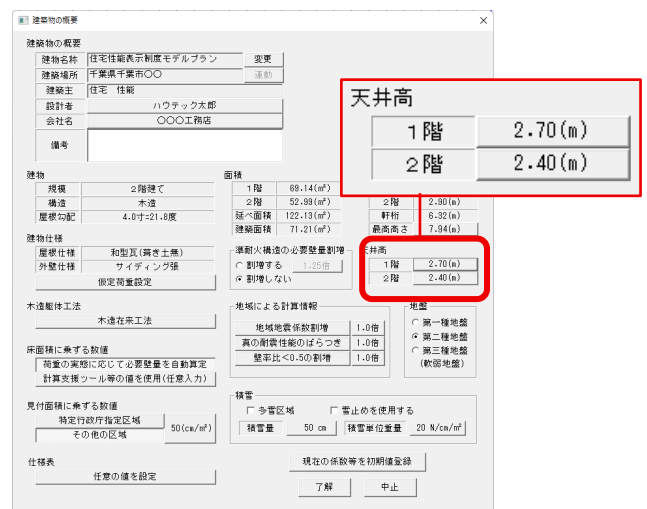
壁量計算・構造チェッカー

◆ [建物概要] で [天井高] を設定できるように対応

[建物概要] で、階毎に [天井高] の基準高さを設定できるようになりました。

! 設定した天井高について

「計算再処理」/「新規に全て再作成処理」を実行すると、設定した[天井高] は初期化されます。その場合は、再度入力が必要となりますのでご注意ください。



< [天井高] の反映箇所 >

壁量計算 : [柱壁伏図／耐力壁量／一覧] の [両内壁]
 [柱壁伏図／耐力壁量／地震用荷重の計算] の [内壁高]
 [柱壁伏図／耐力壁量／存在壁量の計算] の準耐力壁等の [倍率]
 [柱壁伏図／偏心率／重心の算定] の内壁の [重量]
 [柱負担面積図／柱の小径の確認／建物荷重（柱検討用）の計算] の [両内壁]

構造チェック : [柱壁伏図／耐力壁量／一覧] の [両内壁]
 [柱壁伏図／耐力壁量／地震用荷重の計算] の [内壁高]
 [柱壁伏図／耐力壁量／存在壁量の計算] の準耐力壁等の [倍率]
 [柱壁伏図／偏心率／重心の算定] の内壁の [重量]
 [柱負担面積図／柱の小径の確認／建物荷重（柱検討用）の計算] の [両内壁]
 [鉛直／鉛直荷重算定表／等分布荷重] の内部壁の高さ、重量に影響
 [性能評価作業／1 構造安定／2 頁] の [天井高]

※ハウストラでは、[水平力検定]－[許容耐力、重量、風圧力の算定資料]－[耐力壁、準耐力壁倍率表] の「準耐力壁 寸法」内の「桁上端～天井」を変更すれば、両内壁の高さを変更可能です。

柱壁伏図／耐力壁量／一覧

例) 1階天井高さ：2.70mの場合
 内部壁の高さに影響
 ※外部壁、内外壁には影響しません

戻る	1階	2階	一覧	地震用荷重の計算	必要壁量の計算	存在壁量の計算	壁量の検定	
建物荷重の算定								
階(層)	部位	面積 (㎡)	長さ (m)	階高 (m)	固定荷重 (kN/㎡)	積載荷重 (kN/㎡)	荷重 (kN)	荷重合計 Wi (kN)
2	3階下部	屋根1	77.089	-	-	0.998	-	76.550
	2階上部	両内壁	-	21.385	2.400	0.350	-	8.982
		内外壁	-	29.120	2.900	0.350	-	14.779
1	2階下部	屋根1	29.120	-	-	0.998	-	28.917
		外部床	3.312	-	-	0.800	0.600	4.637
		室内床	52.997	-	-	0.590	0.600	63.067
		両内壁	-	29.660	2.400	0.350	-	9.938
	内外壁	-	29.120	2.900	0.350	-	14.779	
	両外壁	-	5.460	2.900	0.350	-	2.771	
	1階上部	両内壁	-	34.124	2.700	0.350	-	16.124
内外壁	-	36.400	2.880	0.350	-	18.346		
両外壁	-	3.180	2.880	0.350	-	1.603		
両内壁		-	34.124	2.700	0.350	-	16.124	

柱負担面積図／柱の小径の確認／建物荷重（柱検討用）の計算

例) 1階天井高さ：2.70mの場合
 内部壁の高さに影響
 ※外部壁、内外壁には影響しません

戻る	建物荷重（柱検討用）の計算	柱の小径と有効細長比の確認	より精緻な算定式による検証	1階	2階				
建物荷重の算定（柱検討用）									
階(層)	部位	面積 (㎡)	長さ (m)	階高 (m)	固定荷重 (kN/㎡)	積載荷重 (kN/㎡)	荷重 (kN)	荷重合計 Wi (kN)	負担合計 ΣWi (kN)
2	3階下部	屋根1	77.089	-	-	0.998	-	76.550	100.32
	2階上部	両内壁	-	21.385	2.400	0.350	-	8.982	
		内外壁	-	29.120	2.900	0.350	-	14.779	
1	2階下部	屋根1	29.120	-	-	0.998	-	28.917	199.60
		外部床	3.312	-	-	0.800	1.300	6.956	
		室内床	52.997	-	-	0.590	1.300	100.165	
		両内壁	-	29.660	2.400	0.350	-	9.938	
	内外壁	-	29.120	2.900	0.350	-	14.779		
	両外壁	-	5.460	2.900	0.350	-	2.771		
	1階上部	両内壁	-	34.124	2.700	0.350	-	16.124	
内外壁	-	36.400	2.880	0.350	-	18.346			
両外壁	-	3.180	2.880	0.350	-	1.603			
両内壁		-	34.124	2.700	0.350	-	16.124		

柱壁伏図／耐力壁量／存在壁量の計算

例) 1階天井高さ：2.70mの場合

内部壁の高さに影響

※外部壁、内外壁には影響しません

? 横架材間距離って？

B-MOS では横架材間距離は、「階高 - 105mm」として計算を行います。

戻る		1階	2階	一覧	地震用荷重の計算	必要壁量の計算	存在壁量の計算	壁量の検定				
存在壁量の算定												
X軸方向												
上側 1/4	通り	記号	倍率	壁長	計①	記号	倍率	壁長	計②	存在壁量 ①+②	1/4領域壁量 ①	
		Y14	W2	4.00	138.5	546.00						
		W3	0.50	136.5	68.25							
中央	Y 9	W1	2.00	500.5	1001.00	W8	0.52	91.0	47.32	754.99	659.75	
		W3	0.50	227.5	113.75	W7	0.13	182.0	23.66			
		W8	0.52	773.5	402.22	W8	0.52	455.0	236.60			
		W8	0.52	546.0	283.92	W8	0.52	546.0	283.92			
		W1	2.00	227.5	455.00	W8	0.52	546.0	283.92			
		W1	2.00	227.5	455.00	W8	0.52	546.0	283.92			
下側 1/4	Y 2	W1	2.00	500.5	1001.00	W8	0.52	91.0	47.32	3348.07	2839.75	
		W3	0.50	227.5	113.75	W8	0.52	91.0	47.32			
合計												

<準耐力壁等の壁倍率>

$$\begin{aligned} & \text{基準倍率} \times 0.6 \times 1 \text{階天井高} \div 1 \text{階横架材間距離} \\ & = 0.9 \text{倍} \times 0.6 \times 2.70\text{m} \div 2.775\text{m} \\ & = 0.525 \text{倍} \end{aligned}$$

柱壁伏図／偏心率／重心の算定

例) 1階天井高さ：2.70mの場合

内部壁の高さに影響

※外部壁、内外壁には影響しません

戻る		偏心率の検定		偏心率計算表		重心の算定		1階	2階							
[重心の算定]																
通り	階	壁仕様1		壁仕様2		壁仕様3		壁仕様4		壁仕様5		床仕様1				
		番号	長さ m	重量 kN	番号	長さ m	重量 kN	番号	長さ m	重量 kN	番号	長さ m	重量 kN	番号	面積 ㎡	重量 kN
14	1	8	2.730	1.4	1	9	2.275	1.1								
1	8	1.820	0.9													
13	1	8	2.275	1.1												
1	7	1.820	0.9													
12	1	7	2.730	1.3												
1	8	1.820	0.9													
10	1	7	2.730	1.3												
1	8	1.820	0.9													
9	1	7	2.275	1.1	2	7	1.818	0.9								
1	8	1.820	0.9		1	7	1.818	0.9								
8	1	7	2.730	1.3												
1	7	2.730	1.3													
7	1	7	2.730	1.3												
1	8	1.820	0.9													

<壁の荷重>

$$\begin{aligned} & \text{壁長さ} \times 1 \text{階天井高} \div 2 \times \text{固定荷重} \\ & = 2.73\text{m} \times 2.70\text{m} \div 2 \times 0.35\text{kN/m}^2 \\ & = 1.289\text{kN} \\ & \approx 1.3\text{kN} \end{aligned}$$

? 固定荷重って？

計算に用いる固定荷重は、[建物概要] - [仮定荷重設定] で確認することができます。

1. 「重心算定表」に記載されている「仕様番号」を確認します。
2. [建物概要] - [仮定荷重設定]を開きます。
3. 仮定荷重表から該当の番号（例：仕様番号 7）を確認します。

5	2	床	モルタル塗	800	1800	1300	600	1000
6	2	床	フローリング	590	1800	1300	600	
7	3	壁	石膏ボード内壁	350				
8	3	壁	サイディング張+石膏ボ-	350				
9	3	壁	両面サイディング張り	350				

固定荷重

鉛直／鉛直荷重算定表／等分布荷重

例) 1階天井高さ：2.70m

2階天井高さ：2.40mの場合

内部壁の高さに影響

※外部壁、内外壁には影響しません。

※1階梁の場合は、選択階の上階の天井高が反映します。

戻る		梁	基礎	柱	荷重合計	等分布荷重	集中荷重								
		1階	2階	2階上											
梁番号	記号	等分布1					等分布2								
		幅 m	G N/m	P N/m	S N/m	a m	b m	記号	幅 m	G N/m	P N/m	S N/m	a m	b m	
22	6	0.910	537	1183	0										
23	6	0.910	537	1183	0		7	2.400	840	0	0				
24	6	0.834	492	1084	0		7	2.400	840	0	0				
25	6	0.910	537	1183	0										
26	6	0.910	537	1183	0		7	2.400	840	0	0				
27	6	0.910	537	1183	0										
28	6	0.910	537	1183											
29	6	0.910	537	1183											
30	6	0.910	537	1183	0										

仕様番号

<壁の荷重>
 2階天井高×固定荷重
 = 2.40m×350N/m²
 = 840 N/m